

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立信太山青少年野外活動センター
施設所管課・担当	こども青少年局企画部青少年課（電話: 06-6208-8157）
条例上の設置目的	野外活動の場を提供することにより健全な青少年の育成を図ることを目的とする。
業務の概要	(1) 青少年の野外活動のための施設を提供すること (2) 青少年の野外活動に関する相談及び指導 (3) 青少年の野外活動の機会の提供 (4) 青少年の野外活動に関する指導者の育成 (5) その他市長が必要と認める事業
成果指標	年間利用者数（全体）／宿泊室稼働率（青少年の家）
数値目標	76,400人／73.5%
指定管理者名	一般財団法人 大阪市青少年活動協会
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	年間利用者数 （全体）	宿泊室稼働率 （青少年の家）
数値目標	76,400人以上	73.5%
年度実績	60,922人	57.7%
達成率	79.7%	78.5%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数（全体）	60,922人	33,245人	27,677人
宿泊室稼働率（青少年の家）	57.7%	41.6%	16.1%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	60,973,862	61,139,845	0	
	計画	60,973,862	61,139,845		
利用料金収入	実績	19,288,680	9,974,290	-6,967,320	・ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による施設利用者数の減
	計画	26,256,000	25,720,100		
その他収入 （自主事業収入等）	実績	35,102,244	26,466,667	-9,293,451	・ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による施設利用者数の減に伴う給食提供数の減
	計画	44,395,695	43,330,021		
合計	実績	115,364,786	97,580,802	-16,260,771	
	計画	131,625,557	130,189,966		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	51,711,976	50,452,954	-4,964,824	・ 効率的な人員配置、変形労働時間制導入による人件費の減
	計画	56,676,800	56,676,800		
物件費	実績	32,350,076	31,115,795	-2,634,804	・ 施設利用人数の減に伴う光熱水費の減等
	計画	34,984,880	34,410,680		
その他事業費 （自主事業支出等）	実績	31,271,429	16,083,035	-8,692,448	・ 施設利用人数の減に伴う給食提供の減等
	計画	39,963,877	39,102,486		
合計	実績	115,333,481	97,651,784	-16,292,076	
	計画	131,625,557	130,189,966		

令和4年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
年間利用者数	79.7%	-	年間利用者数は前年度比27,677人増の60,922人であったものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による利用者減少からの回復途上であったため、評価を「-」とした。
宿泊室稼働率 (青少年の家)	78.5%	-	宿泊稼働率は前年度比16.1%増の57.7%であったものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による宿泊者減少からの回復途上であったため、評価を「-」とした。

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
【人件費】 ・効率的な人員配置、変形労働時間制導入により人件費の縮減を図った。 【物件費】 ・各種設備の維持点検や保全業務について、入札又は複数の事業者からの見積合わせにより、適正な業務水準を確保するとともに、最も安価な事業者を選定した。 ・光熱水費について、定量的に監視し、過年度の利用状況を踏まえた分析を行い、使用量の適正化を図り、コストの削減を図った。	B	利用者のニーズにあわせてさまざまな野外活動プログラムを提供することにより、自主事業の収入増を図り、全体の収支均衡を実現した。

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設定目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	A	・BBQピレッジについて、土日祝はバーベキュー利用の一般団体を受け入れ、平日は一般団体の日帰りサイトとして主に遠足や校外学習の受け入れに活用した。 ・焚火ナイトや養蜂事業の体験講座等のプログラムの充実をすすめている。 ・施設についてご理解いただく機会として、施設開放日「信太山オープンデー」を実施した。 ・学校園団体向けに火おこしやピザづくりなどの信太山ならではの体験活動を、スポーツ団体には給食増量メニューや新たな捕食を提供するなどニーズに応じたサービスを提供している。
施設の有効利用	A	・近隣公共施設（大阪府立弥生文化博物館、泉大津市立池上弥生学習館）や和泉市との連携・協力（イベント等への参加協力等）や、泉大津市市制80周年記念イベント（ふれあい祭り）にクラフトワークショップ出展するなど、地域との連携を積極的に行った。 ・和泉市立中学校との連携・協力を進めた。
社会的責任・市の施策との整合性	B	

令和4年度 指定管理者年度評価シート

5 利用者ニーズ・満足度等

【利用者アンケート】

- ・スタッフ対応：満足 94%、普通 6%
- ・施設利用：満足 88%、普通 12%
- ・その他、感想・意見

「アレルギー児童の食事など個別の対応をしていただき安心して過ごすことができました。」「スタッフの指導が的確でプログラムも充実しており安心して利用できた。」「学校ではできないような体験ができて良かった。」など、肯定的な意見が多かった。

6 外部専門家意見

- ・施設外（和泉市や泉大津市等）においても、自然体験活動の場を提供していることは評価できる。
- ・学校団体の要望に応じて休館日に臨時開館を行うなど、限られた職員数の中で工夫して施設を運営されていることは評価できる。引き続き、職員の負担が過度にならないよう配慮したうえで、利用者の安全を第一とした施設運営に努められたい。
- ・コロナ禍で宿泊利用が減少している中、日帰り利用（BBQ等）の促進など、利用者増加のための努力は評価できるが、近年は団地でキャンプ利用ができる施設が少なくなっていることから、本来の設置目的である、青少年教育施設としての役割を大切にしながら、引き続き施設運営に取り組んでほしい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	-	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による利用者減少からの回復途上であったため、評価を「-」とした。
市費の縮減	B	本市への還元はなかったが、新型コロナの影響により利用者数の減少で収入が減る中、自主事業の収入増を図ることにより、本市からの減収補填に依らず全体の収支均衡を実現した。
管理運営の履行状況	A	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍であったが、学校園・団体に向けた新たなプログラムの開発、提供を行っている。 ・近隣施設や地域との連携を積極的に行い、事業を進めている。 ・引き続き青少年教育施設としての使命を果たし、また利用者の安全確保の徹底に努めてほしい。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	